

# 金澤北ロータークラブ

## 「浅野川つかしん論と演舞場」

昭和六十二年四月に第一回浅野川園遊会を開催し、皆様にはその年の六月十九日に「浅野川つかしん論」の話をさせて頂きました。丁度今年もウサギ年で一回りし、浅野川園遊会も十三回目となりました。皆様方からはご協力とご協賛を頂き厚く御礼を申し上げます。

一五八三年に前田利家が金沢城に入城し、その後一六一六年に東山の観音町が直線通りで整備をされました。恐らく金沢市内が城下町として体制を整えたのもその頃ではないかと思われます。玉姫の祈願所・卯辰の方向がお城から見ますと鬼門にあたるということで、観音院を建てて祈願したと云うことでございます。一八二〇年に「東の廊」が今の場所に設定されました。ですから一九九九年の今日から見ますと、あの当時の百八十年前の建物が、いまだに有るわけですから素晴らしい文化財であると言えます。色々と考えますと金沢の庶民文化の源流は、この卯辰山から流れ出ている、ここが起点であるといえます。

昭和六十年九月、尼崎の塚崎に西武セゾングループが六万坪の工場跡地をショッピングタウンとして開発をした。その時「つかしん」という何も無いところの工場の敷地の中で「魅力的な町作り」をするとき西武の堤代表は「歴史に学べ。そこに生きていく術が何か隠されている」と云われたそうです。その翌年に「老舗・文学・ロマンの街」が出来、水野一郎先生をお招きしてフォーラムをしたときに「町作りのために、何かをやる」と云われた。しかし、何かコンセプトがなければやれないということで、気が付いたのは卯辰山から庶民文化が流れ出ている、この自然の浅野川、それからこの界限には美味しい老舗の料理屋が沢山ある。昔は、芝居小屋や曲

輪があった。それから三味線、琴、謡、お茶とか色んな先生方が住んでおり、また皆さんがお稽古に通っていらっしやる。日本舞踊、清元、長唄、小唄、常磐津、色んな先生がいらっしやる。昔は、この辺は職人さんの大事などころでして、手仕事を一生懸命やっておられた。そして、この卯辰山を中心にしたこの東山・尾張町界限で、その手作りの良さをいまだに一生懸命に伝えておられる方がいる。

その間、色々なことが有りましたが紆余曲折の末、地元の観音町・東山、その周辺をもっと護っていかう、そして創造していかう、ということによって金沢東山街作り協議会を立ち上げたのです。この界限は「つかしん」の基本的なコンセプトが残っているし、金沢の人の心を癒し、同時に全国の旅人を寄せるそのような場所が残っていると思います。そんな良いものが有るのだから「こまちなみ」に指定され、それが押し付けの街作りではなく、住んでいる住民の手による町作り。これが浅野川園遊会であり、且つ、演舞場の再建を夢見る次第です。現在の東の検番の二階の舞台に敷いてある床板が、当時の演舞場の床板だと云われておりますので、再建できたらそちらへ持って来たら良いとの夢もっています。

(文責・渡邊 聡)



中村 曉氏

金沢まちづくり協議会会長

平成十一年三月四日

### 「奉仕との出会い3」

渡邊 聰

「困っている者同士は相身互い」

私は終戦の翌年、昭和21年に小学校に入学した。昭和20年の9月には米軍が日本全土に進駐していたが、施政面ではまだ戦時中のままであった。私達が旧制教育の最終年代となった。学校では修身や教育勅語があり、文字は片仮名から教わった。また、天長節などの行事も行われており、元旦には学校へ行き新年を祝った。私の父は軍人に徴用されることを恐れた祖父の勧めで国家警察の警察官になったが、後に悪名高い特別高等警察に抜擢され、皇族・貴族の護衛警官(現在のSPと同じ業務)として終戦を迎えた。特高に所属したことが災いしC級戦犯として公職追放処分となり、無職となって家族を養うための収入は途絶えた。この時、階級徽章や勲章類、刀剣類、その他、公家や名家からの拝領品などは戦犯の証拠品となる虞れがあると云うこととて全て処分した。正装した儀仗姿の父の写真は、今日の若者にもファッションとして受けそうな格好良いものであり、今でも一種の憧れに似た思いにさせられる。

兄が生まれた昭和6年に金沢の家を新築したのであるが、勤務命令で昭和15年1月頃に神戸市の鷹取に転居し、昭和20年・神戸大空襲で罹災し、殆どを失い金沢に戻った。この時期が貧困の絶頂期で、母の里から支援と母の内職で得た僅かなお金、それに金沢に残してあった少ない家財と母の着物類、祖父と父が使用していた画押印等を売ったり、食物と物々交換したりして飢えを凌いだ。

確か、昭和24年に父の戦犯が解除となり、元の階級で警察官に復職の通知がきたのであるが、父は「我が天職にあらず」と拒否し、外地からの引揚者を支援・援護する同胞援護協会に勤務し、援護会が解散して後は幼稚園の園長を務めた。お陰でそれまでのような悲惨な状態から脱出し、僅かながらでも銀シャリ(白い米の飯)を食べられるようになった。

しかし、父はその様な乏しい中から困窮している引揚者に一握りでもと米を分け与えていた。母は母で、物乞いに来る者は拒まず「可哀相に、あの人達も戦争の犠牲者。困っている者同士は相身互い。お前たちも決してあの人達を軽蔑してはいけないよ」と言いながら、一片の芋でもあげる始末で苦しさは相変わらざる状態

であった。私が小学3〜5年生頃のことと、このような両親から自然のうち奉仕の芽を植え付けられたものと思う。

「ロータリーへの誘い」

昭和62年、佃君から「渡邊君、ロータリークラブに入会しないか」と誘われた。RCのことは殆ど知らなかった私は「何をやるクラブなんや?」と聞き返すと、佃君はRCについて熱弁を奮って説明してくれた。その話の中で「RCは単なる奉仕団体ではなく、人間形成に最も重点を置いている団体や。昼飯を食べて、新しい友達が出てきて、異業種の人から為になる話を聞くことができる、それが自分の為になる。それで1回平均の負担が二千五百円ほどなら安いもんや」という言葉が印象深かった。

実は、その数カ月前に友人からライオンズに誘われていたのであるが、当時の私はライオンズもロータリーも大企業の社長や富裕階級の人達で、奉仕とは名ばかりで名譽も金も暇もある人達の、いわばお遊びの仲良しクラブで、私のような零細企業で貧乏暇無し人間には無縁のものと思っていたのでライオンズの入会を保留した。しかし、私は社会人となった後も、小学生時代に進駐軍から受け

た援助物資の恩恵を、何らかの形で社会に還元したいものと、その機会を待っていたのです。そこへ佃君から聞いたロータリーは、自分がそれまで考えていたものとは全く異質で新鮮な感じがし、その良い印象から「ロータリーは悪くはなさそうだが、入ってみようかな」と心を動かされた。

しかし、決心がつきかねる最大の問題は週1回の例会への出席でした。会社とはいえ僅か7〜8人の零細企業で業務全般の実務を行っていた私は、販売のための出張が木曜・金曜日に集中していたので、木曜の例会日は致命的で出席不可能に思えた。「どうや、決心がついたか」との催促に、この件を話すと「そりや大変やなー。ほんでも最初から駄目やと思わずに一遍やってみたら…。やってみて駄目やと思ったら何時でも辞めたら良いがいや。あんまり深刻に思わんと、もっと気楽に考えまっし」と、この何時でも辞めたら良いの一言で、入会承諾の返事をしたのでした。そして、合田先輩・佃兄の保証を頂き、昭和63年1月の第一例会から金沢北RCの一員として襟にロータリーバッジを付けることとなった。

「親睦家族旅行に参加して」 親睦委員長 長原 俊之 平成11年4月15日

親睦委員会としては数年振りの企画“琵琶湖周辺日帰り家族旅行”を行いました。参加人数、天候、行事内容、色々と心配事が多かったのですが天気はまずまず、ちょっと暑かったかな…。人数は一時35名の予約がありましたが会員の事情により最終29名となりました。これもまずまず…。内容については皆様方から喜ばれたとの話を聞き、大変嬉しく思っております。

今回のコースは「彦根城と玄宮園」お城の中の散策や歴史資料室など見て歩き、また、玄宮園を散策など、私にとっては歩け歩きのコースで気持ちの良い汗をかきました。

次に「多賀大社」に参拝、入口の階段にすくびっくりしてしまいました。半円の形で石の階段を渡らなければなりません。ガイド嬢の話では、渡らなくてはご利益が頂けないとのことで、殆どの方は奇声を上げながら渡っていました。お昼になり、本日のメインイベント“近江牛で、スキヤキ宴会”となり、船一艘に約10名、船内2テーブルに分かれ、それぞれの腕で味を付け食べる事となりました。特別タレが付いているのですが、我が男性チームのテーブルでは、お酒を使いタレはあまり使いませんでした。次に「近江商人郷土館」商人、町人の生活用品、そして商人が使用していた道具など昔懐かしいものが沢山ありました。

最後は「手作り酒造・旭日藤居本家」へ訪問し、存分な利き酒をご馳走になり参加した会員の皆さんは3～4日分のお酒を飲んだのではないのでしょうか。帰りのバスの中は、お疲れが出たのか、非常に静かでエンジンの音だけが喧しく耳障りでした。帰着時間が予定より少し遅れましたが、事故もなく1日を楽しみ過ごさせて頂きありがとうございました。参加されました皆様ならびに親睦委員の皆様本当に御苦勞様でした。



ニコニコボックス

5月20日

乙村君 金沢北RCが2年間受入の要請を受けた米山奨学生として、中国より金沢大学医学部に留学中の、王紅波(ワン ホン ポー)さんのカウンセラーとして、先週土曜日(5/15)オリエンテーションに出席し、正式に受け入れをして来ました。会員の皆様2年間ご協力お願いします。又、5/16地区協議会出席の皆様、ご苦勞さまでした。

長原君 先日(4/15)親睦委員会最後の行事、日帰り旅行水郷めぐりスキヤキ食事会、朝早くより御出席頂き、ありがとうございました。お疲れは出ませんでしたでしょうか。

高島君 先日のゴルフコンペで、2位になりました。  
木村(功)君 誕生日にきれいなお花を、ありがとうございました。

合計 9,000円(累計 1,816,000円)

5月27日

磯野(進)君 能美美智子さんを御紹介出来て、本当によかったと思います。

乙村君 今日のゲストに、能美美智子さんをお迎えして。

中谷君 此度、金沢繊維卸商協同組合理事長を退任しました。5期10年間ご交誼を頂きありがとうございました。又、先週の会報を見る迄、結婚記念日を忘れていました。寛容と忍耐で(どちらかが)44回目を迎えました。

吉田君 古稀を迎えました。ちっとも嬉しくも、めでたくもありませんが、家族が祝ってくれ、今朝、美しい草花の鉢が届きました。赤いペゴニアの大粒の花の集まりを眺めて、これからはボケないで絵を描き続けようと思いました。

松本君 誕生日の花、ありがとうございました。やっと37才(プラス?才)になりました。まだまだ勉強させてもらいたいと思っています。

合計 14,000円(累計1,830,000円)

## やさしい経済「日経平均株価・平均株価とは」

新聞、ラジオ、テレビなどで「本日の平均株価は〇万〇千〇〇円〇〇銭でした。昨日より〇〇円上がりました。又は、〇〇円下がりました。」と発表されます。この平均株価の意味を株式全銘柄の平均と知っている人がいるそうですが間違いです。これは東京証券取引所の1部に上場されている銘柄の中から、水産、建設、繊維、化学、石油、鉄鋼、電気、商業、金融、不動産、サービスなどの業種から代表的な会社の225銘柄を対象として算出した平均で、日本経済新聞社が算出しているのが日経平均株価と云います。通常は「東証225種」の平均株価ですから東証平均株価または平均株価と云います。

以前は、アメリカの算定方式「ダウ平均」で発表されていましたが、算定方式に難しい面があり理解されにくい点がありましたので現在の方式に切り替えられました。

平均株価の役割は投資家の参考だけではなく、経済全体の判断材料にもなります。株価は、その企業の業績を映す鏡ですから。代表的な企業の平均株価が、高い・安いと云うことは、日本全体の景況の善し悪しの判断にもつながります。バブル以降、土地と共に株価の値下がり銀行の資産の目減りとなり、銀行不安の一因ともなりました。現在のように銀行の預金金利が安い時代には、負担にならない程度で株式に投資をしてハイリターンを狙うのも良いのではないのだろうか。 渡邊 聡

### 「第16回 北遊会競技成績」

平成11年5月27日

優勝 駒栄敏雄 +114 (元会員)	中塚康朗
2位 山上啓介 + 53	上野雅司
3位 渡邊 聡 + 30	沢田光夫
5位 濱井弘利 + 6	銭亀賢治
7位 越田和好	長原俊之
10位 磯野進吾	
BB 中川和人	



### 第1263回例会

◆5月20日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話  
会員 上野雅司君
2. 出欠  
出席46名 欠席30名 出席率60.53%  
ビジター13名
3. 来訪者 (敬称略)  
七尾RC 赤喜久造 (乳類販売)  
金沢RC 野上兵一 植田秀二 加藤 晃  
伊藤富夫 片木 進 横山英勝  
金沢東RC 越智久男 大塚滋雄 土川 章  
金沢西RC 栃尾敏之 長田伸夫  
金沢南RC 高泉 寛
4. 幹事報告  
○本日、次年度理事会開催。

### 第1264回例会

◆5月27日(木) はれ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話  
演歌歌手 能美美智子氏

2. 出欠  
出席52名 欠席24名 出席率68.42%  
ビジター15名
3. 来訪者 (敬称略)  
金沢RC 小川甚次郎 織田義夫  
金沢東RC 紙谷 穰 熊崎哲男 土川 章  
金沢西RC 作田昭七 荒川勝治 田川孝三  
井上 潔 若林 茂  
金沢南RC 木下義幸 三野 裕 辻 彰  
香林坊RC 北川義昭 浅田恒二

### 5月クラブ日誌

- 11日(火) 第48回金沢北RCゴルフコンペ  
能登CCにて  
松魚亭にて
- 13日(木) 新会員研修会  
(大西弘君、主浜紀夫君)  
5月定例理事会  
松魚亭にて
- 15日(土) 親睦家族旅行(琵琶湖周辺)
- 16日(日) 地区協議会  
金沢にて
- 20日(木) 次年度理事会  
葡萄酒街道にて

会 長：浅野 弘明	S A A：中田 秀雄
会長エレ外：長谷川壘人	会 計：松本 範夫
副 会 長：本岡三千郎	広報委員長：渡邊 聡
幹 事：佐藤 正寿	会 員 数：77名
副 幹 事：田中 廣嵩	クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30~13:30  
 例会場：松魚亭 金沢市東山1-38-30  
 TEL<076>252-2271 FAX252-2273  
 事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内  
 TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。